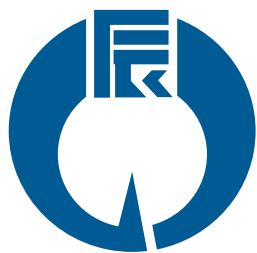


編集・辰野町議会広報委員会
発行・辰野町議会



辰野町 議会だより



第**33**号
平成21年(2009年)
5月1日

～風薫る・花開く・・・
若者の季節がやって来た!～



城前の桜並木
中学生の登校風景



小学校入学式

3月定例会

総務産業建設常任委員会活動から P 2～5
社会福祉教育常任委員会活動から P 5～8
辰野町議会が表彰されました P 8
編集後記 P 8

委員会活動から

総務産業建設常任委員会

- 予算審査
- 条例審査
- 陳情審査
- 現場視察報告



● 予算審査

一般会計

歳入

総額74億7百万円。前年度当初比2.3%増の予算となりました。

主たるものとして、町税は現下の厳しい経済情勢を見極め115,343千円の減額、固定資産税は評価替えにより89,347千円の減額、地方譲与税は8,900千円の減額、地方交付税は9,000千円の増額、国庫支出金は普通建設事業の減少により62,775千円の減額、県支出金は10,109千円の増額であり、これは新たに緊急雇用創出事業補助金等が創設されたためです。繰入金は99,179千円の増額、町債も98,000千円の増額となっています。

歳出

議会費

議員14名と事務局の経費です。

総務費

経費節減を進め、より効果的な行財政運営に努めていくとの説明がありました。

一大居住拠点都市構想の実現に向け防災・住宅・企業誘致など人口増に主眼を置き、住みやすいまちづくりの基盤整備を重点とした「積極予算」となっていることがみて取れます。

一般管理事務費の職員自己啓発活動助成金について質問があり、ねらいは人材育成が基本である。との説明がありました。

委員からは、職員育成をはかるべく上司が部下を教育する。また、職場のチエック機能を充実させ、職員のアイデアに対して、一定の評価を与えることも必要である。との意見が出されました。

衛生費の内水道費

上水道事業会計、各簡易水道会計への起債償還負担金、繰出金です。

農林水産業費

20年度に引続き、有害鳥獣駆除対策のさらなる強化と助成の充実を求める意見が出されました。

地産地消事業は今後も必要な事業であり推進を要望しました。

創業以来十数年が経過する、土づくりセンターの将来に向けた要望が出されました。今後修繕費用等がかさむ中で効率的な運営方法などを検討する必要があります。

商工費

町融資などに係る利子補給金・保証料・小規模事業指導費補助・商工業誘致および振興補助金等各種事業への負担金、補助金が主なものです。

観光費については、横浜開港150周年展示参加費とほたるの育成費、ほたる祭りなどの負担金が主なものです。

横浜市の横浜開港150周年記念行事は、当町にとっても友好・親善を構築していく上で好期であり、町民と行政が一体となり取り組んでいく必要があるとの意見が出されました。

町営バス飯沼線運行事業、ならびに町営バス川島線運行事業が商工費の項目となっています。当初は補助金事業の絡みから商工費への位置づけでしたが、現在では馴染まないのが変更等も含め検討されたいとの意見が出されました。

土木費

用地対策事業費は、土地



耕作放棄地再生利用・電柵設置事業

開発公社健全化計画による供用済公有地購入費が主なものです。

道路維持費は、各区で行う道路や側溝、橋梁などの修繕を行うための原材料費や除雪の委託料が主なものです。

橋梁整備費は、城前橋改築事業として城前橋前後の工事費が計上され、本年10月開通の予定です。

委員から除雪委託料について町内業者の保護、育成のため降雪の有無にかかわらず、除雪機械維持に固定経費が掛かるので配慮すべきとの意見が出されました。十分理解し手当を行っているとの説明もありましたが、今後も引き続き配慮をお願いするよう要望を出しました。

■消防費

常備消防費は、伊那消防組合本部負担金及び辰野消防署負担金などです。

非常備消防費は、消防自動車2台の更新と常備消防

車庫新設、継続事業として消火栓の新設、改良工事を実施して災害活動の充実にを図るとの説明がありました。

委員からは、地域のより安全で安心のために地元の要望に最大限の努力をされたことの意見が出されました。

■公債費

前年に比較して3.4%の減額となり、今後も公債費比率等財政指標を考慮しながら適債事業を選択し、慎重に対応することとします。

■予備費

前年と同額の3千万円を計上してあります。以上、一般会計予算は、全員一致で可決しました。

特別会計

■上水道事業会計

主な事業は、浄水施設改良事業で沢入取水施設整備と導水管改良工事・配水管布設替工事・湯舟高区送水ポンプ更新工事です。

委員から湯舟PC配水タンク耐震化工事に向け実施設計についての質問に対し、これを実施することにより、地域の安全、安心に努めたいとのこととします。

各施設の更新改良を計画的に実施し設備の維持管理に努め、安心・安全で安価な水道水の安定供給に努めるよう要望しました。

■簡易水道特別会計

8簡易水道の施設維持管理と良質な水質保全に努めるとのこととします。

■小野簡易水道特別会計

施設更新を計画的に実施し、施設の維持管理に努めるとのこととします。

■公共下水道特別会計

辰野駅前地区は、平成20年度の整備が終了し、辰野町の下水道整備事業もほぼ完了となりました。

委員より、今後は建設の時代から維持管理の時代に入り、効率的な事業運営に努められたいとの意見が出されました。

■特定環境保全公共下水道特別会計

供用開始以来12年が経過して水洗化も順調に推移している。今後も引き続き宅内接続の普及と汚水処理場の適正な維持管理に努めるとのこととします。

■農業集落排水処理施設特別会計

5処理施設の適正な維持管理が主なものです。

■有線放送特別会計

有線放送事業は施設の維持管理が主なものです。テレビ事業は行政チャンネルとして魅力ある番組作

りに努めるとのこととします。以上、7特別会計は全員一致で可決しました。



地域優良賃貸住宅平出団地

条例審査

辰野町地域優良賃貸住宅管理条例の制定について平出団地内に地域優良賃貸住宅を建設したことに伴う条例の制定です。

この条例は、特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律の規定に基づく地域優良賃貸住宅の設置及び管理など、必要な事項を定めるものです。

この条例は、全員一致で可決しました。

■辰野町道路線の認定・変更・廃止について

認定・変更・廃止について



横浜市 たね丸くん

て相互関連があるので一括して審査をおこないました。対象路線は、平出団地建設による町道の付け替え、中山間総合整備事業の完了に伴う通称北大出南平線、小野雨沢圃場整備地内、上野圃場整備地内、小横川南側の各町道です。

以上3案は、全員一致で可決しました。

陳情審査

地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情

提出者
長野県地震対策強化地域連絡協議会
会長茅野市長 柳平千代一

本陳情は、東海地震の想定震源域が見直されたことに伴い、平成14年4月には地震防災対策強化地域が拡大され、長野県においても

辰野町を含む上伊那・諏訪地域等13市町村が追加指定されました。地震財特法は、平成21年度末をもって効力を失うため、同法の有効期限の延長について政府及び関係行政官庁に意見書の提出を求める陳情です。

委員からは辰野町も連絡協議会の一員であり趣旨に異論はなく、全員一致で採択と決しました。

意見書

今後予想される東海地震に備えて、地震防災対策強化地域の関係地方公共団体は、地域住民の生命、身体及び財産の安全を確保するため、「地震対策緊急整備事業計画」に基づき、各般にわたる地震防災対策を鋭意講じてきたところであり

しかしながら、今後なお整備を必要とする多くの事業が残されており、また、近年の国内外における大地震により得られた教訓を踏まえ、公共施設の耐震化、防災資機材の整備等をより

一層推進することが求められていくにもかかわらず、この計画の根拠法である「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」は平成21年度末をもって効力を失おうとしています。

よって政府においては、このような状況と大規模地震対策の重要性にかんがみ、同法の有効期限の延長について特段の配慮をされるよう強く要請します。

以上の意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

よって政府においては、このような状況と大規模地震対策の重要性にかんがみ、同法の有効期限の延長について特段の配慮をされるよう強く要請します。

以上の意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。



西小学校耐震補強工事

「汚染米」事件の全容解明と対策を求める陳情

提出者
上伊那農民組合
組合長 竹上一彦

本陳情は食の安全・安心を求める国民の声にこたえて「汚染米」事件の全容解明を行い、抜本的な防止策を強く求める意見書を政府関係機関に提出を求める陳情です。

委員からは趣旨に賛同する意見が多く出され、全員一致で採択と決しました。

意見書

農薬やカビ毒などに汚染された輸入米が食用に転用され、小中学校や幼稚園の給食にまで入り込んだ「輸入汚染米」事件は、日本の食の安全をおびやかす、はかり知れない衝撃をもたらしました。

この事件は、不正転売した業者の責任はもとより、汚染された米を輸入したうえ規制緩和で流通を市場まかせにした国の責任が大き

く問われています。

「汚染米」事件に対する国民の大きな批判により、一定の調査・報告はされたものの、いまだに全容の解明はされておりません。

食の安心・安全を求める国民の声にこたえて「汚染米」事件の全容解明を行い、抜本的な防止対策を強く求めます。

以上の意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

外米（ミニマムアクセス米）輸入中止を求める陳情

提出者
上伊那農民組合
組合長 竹上一彦

本陳情は国内農業を守るため、外米（ミニマムアクセス米）の輸入中止を求める意見書を政府関係機関に提出を求める陳情です。

委員からも安全な国産米を増産して、国民に供給すること、そのために、減反政策を見直すことも必要であり、それが世界の食糧危

あり、それが世界の食糧危

機に貢献できる道であると
の本陳情の趣旨に理解を示
し採択と決しました。

意見書

輸入汚染米事件により日
本の食の安全が大きく脅か
されました。

また現在国際的にも深刻
な食糧危機に陥り、日本が
必要のないミニマムアクセ
ス米を輸入することは、途
上国の人々の食糧を奪うこ
とにつながっています。

国内では生産調整が強化
されたまま継続されてお
り、「輸入汚染米」事件に
対して農民から「4割も減
反する一方でなぜ大量の米
を輸入しているのか」とい
う怒りの声があがって
います。

今こそ安全な国産米を増
産して、国民に供給するこ
とが大切です。

食の安心・安全を求める
国民の「米輸入やめよ」と
言う声が届き、11月の外
米の入札は「落札なし」で
した。以上のことから、外
米（ミニマムアクセス米）

の輸入を止め、減反政策を
見直し世界の食糧危機に貢
献することを強く求めま
す。

以上の意見書を内閣総理
大臣ほか関係大臣に提出し
ました。

現場視察

● 役場屋上防水塗装工事予
定箇所。

● 辰野ほたる童謡公園安全
防護柵設置予定箇所。

● 鴻ノ田辺地事業「排水処
理施設」「簡易水道施設」

「町道58号・59号線の改
良」「消防施設」の予定地。

● 城前橋改築事業。
以上4か所の現場視察を
行いました。



童謡公園防護柵現場視察

委員会活動から

社会福祉教育常任委員会

- 予算審査
- 条例審査
- 現場視察



● 予算審査

一般会計

■ 民生費

社会福祉総務事務では大
萱の里の負担金が後7年で
終了します。

扶助費の難病患者福祉手
当は約50人分、福祉タク
シー・バス利用扶助は149人
を見込んでいます。

保健福祉センター管理事
務では、今年6月に保健福
祉課が本庁に戻ることから
その後の施設の利用法につ
いて、十分検討する必要が
あるといった意見が多数あ
りました。

身体障害者等支援事業で
は就労施設が建築され、4
月から利用が始まります。

児童手当費の扶助費は3
歳未満児43人、3歳以上小
学校終了前児童1,543
人を対象にしたものです。

保育園運営費の賃金は臨
時20名、栄養士1名、調理
員15名、延長13名に対する
ものです。

工事請負費295万円の内訳
は、羽北保育園のシロアリ
防除工事が85万円、中央保
育園のプールサイド排水溝
修理が110万円です。前回の
シロアリ防除の工事では、
業者から保証書を取ってお
らず、今回は保証期間や保
証範囲を明確にした保証書
を取る必要があるといった
意見がありました。

新町保育園建設事業に関
しては、今年度中に建設地
を決定し、平成22年度に建
設予定とのこと。

委員からは、中央保育園
の過密状態を考慮し、地
元、保護者並びに専門家の
意見も取り入れた保育園を
望む、といった意見があり
ました。



障害者就労支援施設

■衛生費

保健衛生予防事業では21年度、日本脳炎の予防接種の復活がなされており、補正予算で対応したいとのことでした。

委託料のうち風疹・麻疹混合接種は平成25年までの間、中学1年生と高校3年生が追加されるものです。

環境衛生事業の委託料の内、河川水質測定委託料は町内9河川、14ヶ所について年4回測定するものです。

辺地対策浄化槽事業では平成21年から3年間で30基整備するもので、本年度10基分を予定しています。また生ゴミ処理機は30機分を予定しています。

町保健対策推進事業では妊婦検診の補助回数が5回から14回に増えており、補正予算で対応予定です。

訪問看護ステーション事業は前年より約2倍の予算となつています。これは看護師を1名増やすことが大きな要因です。委員からは、職員配置等を検討し黒

字化を目指すよう要望しました。

清掃費の塵芥処理事業では古紙が現在安くなつており、回収業者がストックしている状況とのことでした。

厨芥ゴミ再生処理については、大石平での取り組みが1年経過することから、今までの事業評価をし、今後の事業の展開を検討する必要がありますといった意見がありました。

伊北環境行政組合の負担金が増額されていますが、これは担当自治体での交付金の算入誤りがあったことによるものとのことであり、組合議会での説明を求めました。

■教育費

教育委員会事務での学校支援コーディネーターは、学校側からの要望にこたへるべく登録された約400名の支援員との間の調整役として教育委員会に常駐しているとのことでした。

小学校ALT講師委託料については、今年度は小学校5・6年を対象に1クラス年15時間の英語授業をするものです。

工事請負費の学校別では西小205万9千円、東小69万6千円、南小95万2千円、川島小51万4千円、辰野中学191万9千円となっております。

教職員住宅の空き部屋対策では豊南短大に賃貸するなど有効利用されているとのことであり、今年度から行う横浜市との人事交流の職員もここに入居するとのことでした。

小学校、中学校全般に見て、本年度南信図書館大会が11月17日に西小をメイン会場として辰野中学、中

央保育園で開かれるため備品費等が若干増額されています。

借地料について、買い取ることはできないのかとの質問には地主側の要望もあり難しいとのことでした。

昨年出されましたが、夜遅くまで学校の職員室の明かりがついており、事務処理に時間が費やされているのではないかと、パソコンの有効利用などでもっと合理化すべきであるといった意見がありました。

■社会教育他

公民館の分館、集会所の改修は、平出下町・中央コミュニティ・渡戸の3箇所です。

図書館の外壁工事は劣化したタイル目地を埋めるものであり、また町民体育館の外壁工事は南側の改修です。

青少年健全育成事業の子育て支援マスターについて、地区により温度差があり先進的な地区の取り組み

等の研修や意見交換の場が必要といった意見がありました。



図書館外壁工事箇所

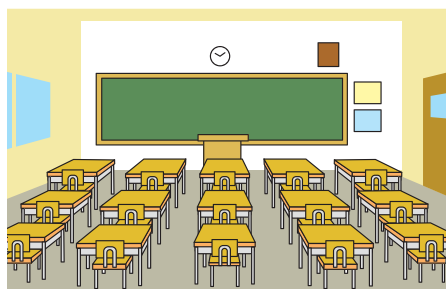
特別会計

■国民健康保険会計

平成19年改定の税率を維持するものの、基金からの繰入を約4,200万円予定しています。現在の国保加入の状況は、世帯数で3,276世帯、42.5%、人数では5,868人、26.48%の加入となっています。

出産育児一時金は一人42万円の30人分を予定しています。

疾病予防費の人間ドッグ補助金では、日帰り2万円





で85人、一泊4万円で35人、脳ドッグは2万円で30人の補助を見込んでいます。

■ 第一・川島診療所会計

第一診療所は毎週月曜日と金曜日の午後、川島診療所は火曜日の午後それぞれ診療しています。今後も医師の確保ができれば続けていきます。

■ 後期高齢者医療会計

現在75歳以上の3,196人が対象者となっています。

■ 老人保健医療会計

後期高齢者医療制度ができたことにより廃止となる会計ですが、国・県の指導により平成22年度まで存続します。

■ 辰野総合病院事業会計

本年度予算は従来の数字合わせの予算ではなく、当初から収入より支出が約1億円多い不均衡予算となっています。また一般会計からの繰入も以前はその都度補正予算で組んできたものを、当初より3億5千万円見込んであります。

人件費について、現在職員の給与比率が66・8%ある中、改革プランでの目標値55・0%にするには懸命な努力が求められるといった意見がありました。

患者の多くの声として、診療、看護、事務など病院のあらゆる部門でのサービスの向上が求められていること。また近隣市町村への宣伝も工夫し外来患者を増やすことが重要といった意見が出されました。

■ 介護老人保健施設 (福寿苑) 会計

介護報酬の2.8%アップによりハ部門で400から500万

円増収が見込まれるといった説明でした。

待機状況では伊那谷で21人、福寿苑では27人おり、待機期間も長い人では1年待ちといった状況です。

第4期介護保険計画で平成22年度に30床の増床を予定しています。

これについて委員からは病院の移転新築計画と並行して検討する必要があること。民間業者が運営する状況が増える中、今後民間での運営や、指定管理者での運営といったことも検討する必要がありといった意見が出されました。



今村介護予防センター

■ 介護保険会計

この議案に関しては後段の介護保険条例の一部改正で報告しているとおりです。

● 条例審査

■ 辰野町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定

平成21年度介護報酬の改定による保険料の上昇分を抑制し、被保険者の負担の軽減を図るための基金の設置に関して条例を制定したいとするものです。

改定による保険料の上昇分は2.8%となり、平成21年は全額、22年は半額が交付され、2年間で1,276万円となります。委員全員一致で可決しました。

■ 今村・唐木沢介護予防センターの設置及び管理に関する条例の制定

この2議案は今回完成した両施設の設置と管理に関

する条例を制定したいとするものです。

委員全員一致で両議案とも可決しました。

■ 辰野町介護保険条例の一部を改正する条例

第4期の介護保険事業計画の策定に伴い介護保険料の改定により条例を改正したいとするものです。

この議案は、議案第16号の介護保険特別会計予算と関連しており、以下その内容を報告します。

ある委員からは、過去3年間保険料収入が伸びていること。また予算では基金への積み立てがゼロであるのに、決算では積み立てられていること。それにより基金も順当に増えてきており、健全な運営がなされている、今回保険料値上げの改定はしなくてもやっていけるのでこの案件は認められないといった意見が出されました。

これに対し職員からは、保険料収入は伸びている

が、保険給付金の方がそれ以上に出ていること、また高齢者の実態調査から施設利用の希望が多いこと。老健施設などもこの3年間に増床計画があること。今回の改定により今後3年間の保険料が定まり、途中で改定できないこと。3年後に大きな値上げになることで負担増になるといった説明がありました。

他の委員からは、実態調査やきちんとした推計法によって得られた数字であり、今回の改定はやむを得ないといった意見が大半でした。

採決の結果、賛成5、反対1で可決としました。

辰野町公の施設の指定管理者の指定

- 1 辰野町ボランティアセンター、
 - 2 辰野町老人福祉センター、
 - 3 辰野町生活支援センター
- についてはここで期限が切れるため更新するもの

です。

4 辰野町世代間交流施設については世界昆虫館代表者の川島陽江氏に指定するものであり、期間は2年間としてあります。

5 今村介護予防センター、6 唐木沢介護予防センター。

以上6施設の指定管理者の指定に関して委員全員一致で可決としました。

委員会としての要望事項

訪問看護ステーション事業について

この事業は多くのところで赤字が出ている中、町の事業では倍近くの支出となっており、職員の配置等を検討し黒字化を目指すこと。

ゴミの減量化に関して

大石平での厨芥ゴミ再生処理事業が1年経過するところで、事業評価を行い今後の事業展開を検討すること。

保健福祉課の本庁移転に関して

この6月、保健福祉課が本庁に戻ることに、現施設の有効跡利用の計画を明確にすること。といった意見が出されました。

現場視察

- 町民会館舞台吊り物設備改修工事
- 図書館外壁工事
- 西小・東小耐震補強工事
- 町民体育館外壁工事
- 障害者就労支援施設
- 老人福祉センター内壁・床張替えの各現場を視察しました。



全国町村議会表彰式

辰野町議会、

全国表彰をうける。

平成20年度全国町村議会表彰審査において、全国でわずか33議会がその栄誉によくし受賞しました。

- 町のホームページへの議事録の公開。
 - ほたるチャンネルによる議会状況の放映。
 - 議員手作りによる議会便りの発刊。
 - 議員定数削減やこども議会の開催。
 - 議会活性化検討委員会の設置。
 - 病院医療研究委員会などの設置。
 - 町の基本構想や病院問題や医師確保のための調査とう立ち上げ、町の基本構想や病院問題、医師確保のための調査研究。
 - 国へ出向いての勉強会や意見書の提出。
- 以上の点が高く評価されました。

編集後記

新議会が構成されてからはや2年が経ちました。新人議員ばかりでしたので、五里霧中ならぬ夢中がなばつてきました。百年に一度という経済不況のなか、議会広報の果たす役割も非常に大きなものがあると自覚しております。議会活動を町民の皆様にごきりだけ分かりやすく伝えようと努めてきましたが反省することばかりでした。病院移転新築や13号線を中心とした道路問題など、もっと沢山のことを取り上げたかったのですが、予算審査など最優先の掲載記事があり、割愛せざるを得ませんでした。次号からは新メンバーにてお届けいたします。読者の皆様へ感謝申し上げます。お別れの挨拶といたします。

- 広報委員長 岩田 清
副委員長 永原 良子
委員 中村 守夫
宮下 敏夫
船木 善司
中谷 道文